



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和6年度学校だより
No.6 9月号
令和6年9月2日(月)

燦々照今 よりよき今をともに創らん

9月になりました／佐野の和夏祭り・稲田夏まつり開催!!

長い夏休みが終わりました。過ぎ去ってみればあっという間ですが、とにかく一区切りです。気持ちを公(おおやけ)のモードに切り替えて、姿勢をしゃきっと整えて学校生活を送ってほしいものです。学校は家とは違って多くの他人が生活をともにする場です。個性は大切にしつつも、集団の一人という自覚をもって今日からの授業に臨んでください。

9月2日(月)朝の登校時には活気がありました。7時50分を過ぎると昇降口は生徒であふれかえり、熱気に満ち満ちていました。部活動等で顔を合わす機会も多かったとは思いますが、ほんの少しでも会っていないと懐かしいのか、自然と会話の弾む様子が見られました。何にしても朝から暑いのはまだまだ続きそうです。早く生活のリズムを取り戻して、毎日元気よく登校してください。

さて、9月になり、運動部では3年生が部活動をほぼ引退したことで戸惑いもあり、特に2年生は、あらためて先輩の存在のありがたさを実感しているのではないかと思います。まだ動き出したばかりの新チームで、この夏休みに、次の新人戦に向けて練習に励んできましたが、新人戦は今の実力を知るよい機会です。先の来年6月の総体を視野に入れながら、大会に臨んでください。文化部のみなさんの一部の部活動では、まだ3年生ともう少しだけ活動をともにする時間があります。これはありがたいことです。先輩・後輩、そして同学年の仲間とさらに高めあって自分を成長させ、部員同士の絆を深めてもらえればと思っています。

前期終業式は10月11日です。次はそこを区切りとして目指してください。時は止まらないので、さらには先の碧和祭や30周年記念事業など常に見通しをもって、学校生活を送っていきましょう。



第41回佐野の和夏祭りが7月27日(土)に佐野運動公園にて、第31回稲田夏まつりが8月17日(土)に今鹿島神社にて開催されました。佐野の和夏祭りの日は雨の予報でしたが、30分後、1時間後には訪れるであろうと予想された雨雲は南の方へと遠のき、順調に祭りは進行しました。

佐野の和夏祭りには、今年は約3,000人が訪れたそうです。地域の人たちが力を合わせて計画、準備、そして当日、さらには翌日の片づけと時間をかけて取り組み、伝統を紡ぎながら守り育ててきたこのお祭り、楽しみにしている人がたくさんいることを知りました。当日会場に足を運んだことでその雰囲気に触れることができ、地域の大イベントであり、小さな子どもから御高齢の方々までこの日の時を待ち望んでいることが分かりました。

この空間には多くのテントが張られ、様々な出店と出し物がありました。本校からも多くの生徒が手伝いとして、また、客として祭りを盛り上げていました。特にスタッフの一員として参加した生徒は全学年から数十名もいましたが、小学校のときの思い出もあってか、是非この祭りに携わって来る人を楽しませ、また、自分も楽しみたいという気持ちにあふれていたと思います。稲田夏まつりにも本校生徒が運営に携わっていましたが、かつての楽しい思い出から、神社の境内へと自然と足が向いたのではないかと感じました。

「地域のよき伝統を受け継いで、その真のよさを後世に伝える人となれ。」

佐野の地から世界へ。Local から Global へ。今、この地での経験と思い出を胸に抱いて、いずれの日にか世界へ羽ばたけ。